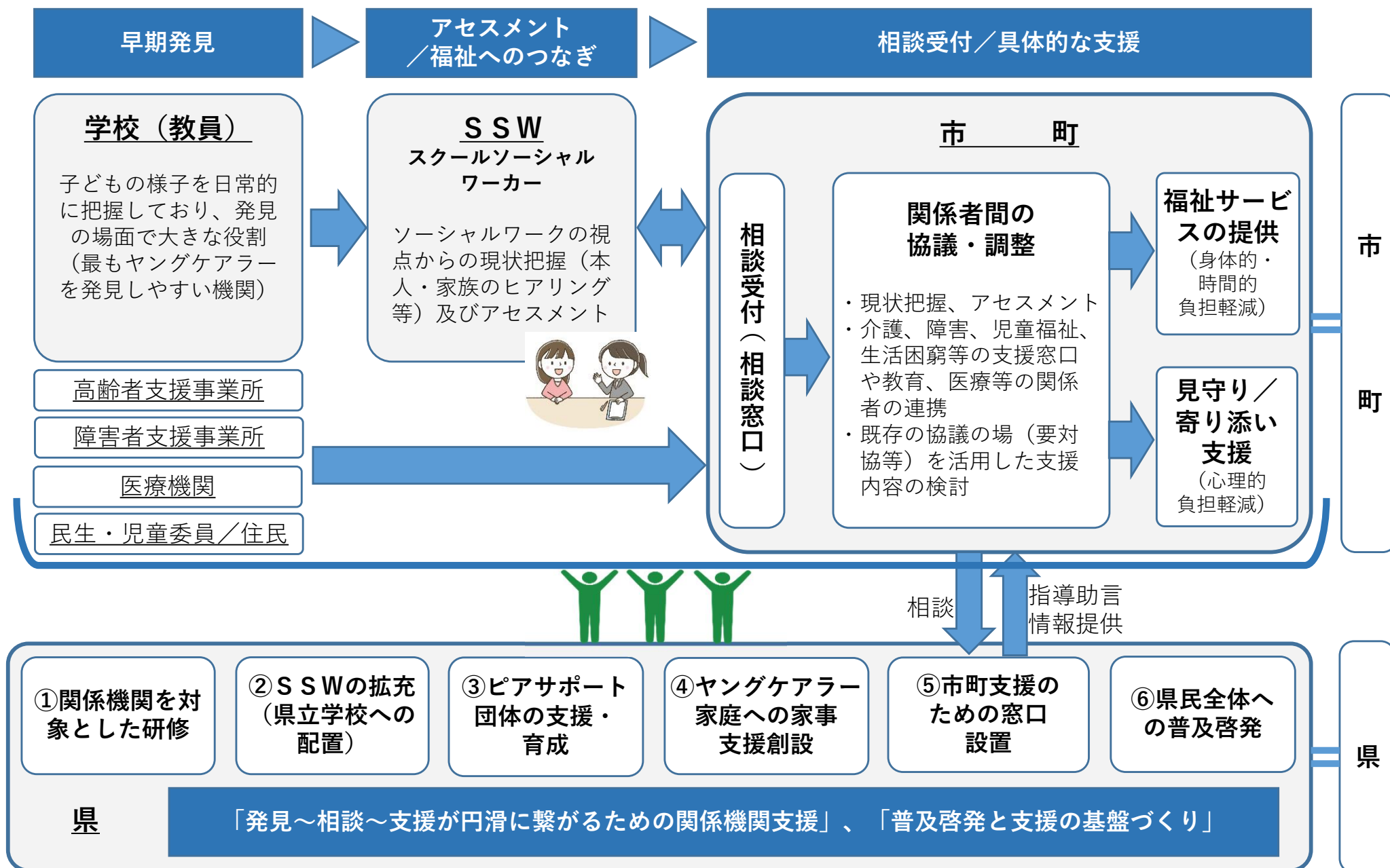


### 【ヤングケアラー支援体制（関係機関の役割分担）のイメージ】



## 【早期発見】

### 1 関係機関を対象とした研修の実施

- ヤングケアラーの早期発見や初期対応、子どもや家庭に寄り添った支援の充実に向けた研修の実施
  - ・市町職員向け研修→正しい理解、多機関連携、子どもの権利等を踏まえた総合的な対応力の向上
  - ・福祉機関向け研修→介護や障害福祉等の現場における、ヤングケアラーへの理解促進や早期発見の視点養成
  - ・教職員向け研修 →学校におけるヤングケアラーへの理解促進と対応力の向上（全公立学校対象に2年間で実施）

## 【支援策の推進（相談支援等）】

### 2 S S W（スクールソーシャルワーカー）の拡充（県立学校への配置）

- 学校現場と地域の関係機関や家庭を繋ぐ役割を担う S S W の配置の拡充
  - ・現在33名配置 → 配置拡充に向け調整中
  - ・県立学校への追加配置により、県立学校の生徒への支援の充実

### 3 ピアサポート団体の支援・育成

- ピアサポートに必要な知識・技術に関する研修実施等の人材育成や県内団体のネットワーク化によるピアサポート活動の充実

### 4 子育て世帯訪問支援事業（ヤングケアラー等課題を有する家庭への家事・育児支援）

- ヤングケアラー家庭等、家事・育児等に対して不安・負担を抱えた要支援家庭等への訪問支援員の派遣
  - ・実施主体：市町（負担割合：国1/2、県1/4、市町1/4）  
※外部委託による実施を想定
  - ・支援内容：家事支援（食事の準備、洗濯、掃除、買物代行等）、育児支援（保育所等の送迎、各種施策の情報提供等）

### 5 市町支援のための相談窓口（県ヤングケアラー・コーディネーター）の設置【継続事業】

- こども政策課に配置するヤングケアラー・コーディネーターを中心に、市町への助言や情報提供等を実施
  - ・相談・支援内容（想定）：県内外先行事例の紹介、個別ケースへの助言、市民向け啓発や研修への支援等
  - ・ヤングケアラー・コーディネーター未設置の市町や対応に不慣れな市町を中心に支援

## 【社会的理解の促進】

### 6 県民全体への普及啓発

- ヤングケアラーに関する理解を促進し、社会全体で支える機運を醸成するための普及啓発事業を実施
  - ・シンポジウムの開催
  - ・ヤングケアラーの理解促進につながる動画作成（児童・生徒向け、一般県民向けの2パターン作成を想定）